



全国保健師長会千葉県支部だより

令和元年度 第2号 令和2年2月10日発行

千葉県支部長あいさつ

皆さん、こんにちは。今年は暖冬となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今回は全国保健師長研修会や代議員総会のほか、先月1月18日に千葉県支部で開催しました第2回研修会について報告します。研修は災害保健がテーマのためか、例年より多くの方々にご参加いただきました。研修後のアンケート結果から今後も災害保健をテーマに研修開催のご希望が多数ありました。

皆様方のご意見、ご要望を踏まえて研修の企画等を考えていきたいと思っております。

福田 浩子（千葉縣市川健康福祉センター）

1 第41回全国保健師長会代議員総会 令和元年11月16日（土）開催

今年度は、岡山県（ピュアリティまきび）で開催されました。千葉県支部代議員4名中、支部長福田（市川健康福祉センター）と塚本代議員（八日市場地域保健センター）の2名が出席しました。

基調講演の東邦大学の岸恵美子先生からは、今後保健師に期待されることとして①これまで、地域における活動を保健師が中心に行ってきた蓄積を生かす②看護職の強みである医療、介護との連携のしくみで中心的な役割を果たす③他職種、住民に保健師の必要性・存在意義を伝える「地域を知っているのは保健師、地域で必要な職種であることをアピールしましょう！」とエールをいただきました。

シンポジウムは徳島県美馬保健所大西医療企画担当課長、出雲市福間統括保健師、岡山市木尾参事から、「地域に責任を持った保健活動」をテーマにご報告をいただきました。いずれの方々も地域での課題をとらえ、同僚・上司・関係者・住民と共有・連携し、実施➡まさしくPDCAを回す実践のお話でした。代議員総会資料集（ピンクの冊子）に先生方のパワーポイント資料は掲載されていますので、ご参照ください。千葉県内の保健師さん方も同様に素晴らしい実践をなさっていると考えますので、ご自身の活動をまとめて、ご発表いただく機会もできると良いかしらと感じました。

総会の議題では、1号議案から8号議案まで可決されました。

次期会長は、北九州市の清田啓子さんになりました。



2 令和元年度全国保健師長研修会 令和元年11月14日、15日開催

報告者：柏市保健所 地域保健課 星 裕子

「地域に責任を持つ保健師マインドを育てるリーダーの役割」をテーマに、全国から約370人が参加。講演、実践報告、グループワークと盛りだくさんの2日間でした。主な内容をご報告します。

【講演Ⅰ】「共に育ちあう保健師人材育成に果たすリーダーの役割」

国立保健医療科学院 主任研究官 成木 弘子氏

- 管理者保健師は公衆衛生看護管理の機能において、①事業管理・業務管理②組織運営管理③人材育成・人事管理を發揮する必要がある。
- 2040年問題として、人口減少・少子化・高齢化により、これまでのシステムが使えなくなる。モデルのない世界を迎えるためには、「自律し成長を続ける人材」の育成が求められており、自治体独自のキャリアラダーの作成と保健師育成方針の策定をすること。
- 「ともに育ちあう人材育成」をベースにし、それに「経験学習（特にリフレクション：経験した時や後で振り返ること）」で、教訓は高くなる。
- リーダーの役割は、①自らが自律し成長を続け、②部下に対しエンパワーマネジメントを心がけ、③自律した組織へと変化させることである

【講演Ⅱ】「これからの保健師活動に求められること」 全国保健師長会 会長 山野井 尚美氏

- 2019年度の活動方針は「各自治体における災害対策の取り組みの促進と被災地における保健師活動の発信」。自治体保健師には①被災地のニーズに対応できる判断力・調整力・応用力・実践力②情報の少ない時点からの決断力と関係課との調整力③平時から組織横断的な連絡調整・交渉ができる顔が見える関係づくりが必要である。

【講演Ⅲ】「地域保健をめぐる国の動向」 厚生労働省健康局健康課保健指導室 室長 加藤 典子氏

- 統括的な役割を担う保健師には「組織横断的な総合調整と推進、技術面での指導・調整等」を行う役割が求められている。
- 災害時の統括保健師の役割は①平時からの統括役割により培った実績②災害時の断片的な情報の関連付け、状況の俯瞰的な理解、必要な指示出しをすることである。
- キャリアパスを活用した体系的な人材育成体制構築を推進すること。

【講演Ⅳ】「地域特性に応じた保健活動の推進～経験から学び、さらなる役割発揮へ向けて」

聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授 麻原 きよみ氏

- 保健師の活動体制は、地区担当制や業務分担制（地区割併用）といった地域・地区に出向ける環境が望ましいが、活動体制にかかわらず地域・地区活動は可能である。

【講演Ⅴ】「災害時及び災害を想定した平時からの保健活動の推進

～経験から学びさらなる役割発揮へ向けて～」大阪市健康局健康推進部 保健主幹 松本 珠実氏

- 平時に行うべき準備は①地域診断②活動体制の整備③関係者関係機関との連携④災害時要配慮者への支援準備⑤人材育成である。

～所感～

全国の都道府県、保健所設置市、特別区、市町村のリーダー保健師の方々とは人材育成のあり方や、災害時におけるリーダー保健師の役割について多くのことを学ばせていただきました。今後、人口減少というこれまでにない状況に対応するため、今の人材でどのような保健活動に取り組むか考える必要があり、そのためには日頃から時間を作って業務の見直しを行い、保健師として何の業務をしているのかを見せていく必要があるという講師の言葉が印象に残りました。行政保健師は他の看護職とは違い、地域のニーズを予算化することができる職種です。リーダー保健師が中心となり組織が新たな制度や仕組みを作り、実践していく役割の大きさを改めて感じました。貴重な学びの機会をいただき、ありがとうございました。

3 令和元年度第2回全国保健師長会千葉県支部研修会 令和2年1月18日（土）開催

昨年9月、10月の台風等に見舞われた本県の災害時保健活動をテーマに開催したところ、例年より多い50名の方々にご参加いただきました。

○実践報告「災害時保健活動におけるリーダー保健師の役割」

鴨川地域保健センター野澤副センター長、鴨川市山口主査、千葉市前嶋保健師活動担当課長の方々から、台風15号、19号での対応、課題、改善したことの報告がありました。

リーダー保健師の役割として、「活動がスムーズに実施できるよう平時から環境を整える役割が重要」「目的に基づいた災害につながる日頃の活動（要援護者の安否確認優先順位・経験年数に応じた保健師の役割意識）が重要等々」「迅速・正確な情報収集・発信・俯瞰できる環境・先を見越した保健活動による健康被害の予防・災害時保健活動と円滑な通常業務の両立・支援の立場と保健活動の自立性・継続性・経験と課題の共有」等々、お三名様、とても素晴らしい内容で見習うことも多かったです。

○グループワーク「受援について」

近隣の地域別グループに分かれて、前述の3名様の実践報告と日頃の活動から被災した際の受援について考える機会としました。

当日ご記入いただきましたアンケート結果から、

情報共有の大切さ	要支援者リストの統一・一元化	各部署・関係者との役割分担	保健師の役割の認識（保健師自身及び周囲にも）	保健所と市町村との日頃からの連携	リーダー&サブリーダーの配置の重要性
----------	----------------	---------------	------------------------	------------------	--------------------

等々の数々のキーワードが出され、大変効果的な研修との感想でした。



❖❖ 編集後記

リーダー保健師としてご活躍の中でも、悩み・迷い・後悔等々あると思います。保健師長会が少しでもお役に立てると良いなあと感じています。これからもご支援よろしくお願いします。 福田❖❖